

骨髓バンク 2007年6月 会報35号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrowjp.net/>

発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・福間究

<事務局> 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1-1-913福間宅

TEL : 029-856-7881 / FAX : 020-4668-5485 / E-mail : bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

平成18年度茨城県骨髓バンクドナー登録会総括

多くの皆様のご協力を頂きながら登録会回数33回！

登録会での登録者数は428名に！

平成18年度の登録会が無事終了致しました。33回の登録会実施により登録者総数428名となりました。ご協力いただいた県薬務課、各保健所、血液センター、献血主催団体の関係された全ての方々に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

NO	月	日	曜日	会場名	担当保健所	地区普及広報委員	登録推進員	説明員および参加者	登録者数	献血者数	登録率%
1	4	12	水	NTT水戸分会	水戸	山崎	-	川井、山崎(晃)、湯本、林	10	56	17.9%
2		16	日	霞ヶ浦マラソン会場	土浦	小田倉	伊井	伊井(義)、福間、細谷F、和田、湯本、植村、鈴木、菱沼、財田林	30	61	49.2%
3	5	9	火	土浦ピアタウン	土浦	小田倉	伊井	山崎(揚)、福間	7	40	17.5%
4		13	土	つくばフェスティバル(つくば献血ルーム)	つくば	福間	伊井	川井、湯本、和田、牛島	11	65	16.9%
5		14	日	つくばフェスティバル(つくば献血ルーム)	つくば	福間	伊井	小田倉、湯本、和田、植村、野沢、鈴木、武田	17	82	20.7%
6		19	金	キヤノン取手事業所	竜ヶ崎	牛島	伊井	山崎夫妻、福間、植村、貫井、稲葉	20	187	10.7%
7		26	金	キヤノン取手事業所	竜ヶ崎	牛島	伊井	山崎夫妻、福間、貫井、稲葉、望月	30	159	18.9%
8		31	水	筑波大学	つくば	福間	伊井	伊井(義)、福間(明)、植村、鈴木(由)	28	54	51.9%
9	6	15	木	下妻市役所	常総	福間	伊井	川井、福間(明)、井手(高)、坂下	20	98	20.4%
10		23	金	鹿嶋チェリオ・ジャスコ	潮来	牛島	野上	山崎	11	68	16.2%
11		29	木	原研那珂研究所	常陸大宮	細谷	得田	福間	5	58	8.6%
12	7	24	月	三菱化学鹿島事業所	潮来	牛島	-	山崎	18	43	41.9%
13		28	金	NECコンピュータテクノ	筑西	細谷	-	川井、井手(高)	1	53	1.9%
14	8	24	木	陸上自衛隊勝田駐屯地	ひたちなか	細谷	野上	川井、井手(高)、和田、高島	19	71	26.8%
15		26	土	まつりつくば	つくば	福間	伊井	川井、鈴木、和田、高島、牛島	5	59	8.5%
16		27	日	まつりつくば	つくば	福間	伊井	川井、植村、和田、高島、佐藤夫妻	17	79	21.5%
17	9	7	木	水戸経理専門学校	水戸	山崎	-	川井、和田、高島、牛島	24	132	18.2%
18		12	火	ベイスシア玉造店	鉾田	山崎	-	川井、和田	9	40	22.5%

ドナー登録者30万人をめざして！

～平成18年度茨城県骨髓バンクドナー登録会総括～

NO	月	日	曜日	会場名	担当保健所	地区普及広報委員	登録推進員	説明員および参加者	登録者数	献血者数	登録率%
19		14	木	日製情報制御システム事業部	日立	牛島	得田	磯貝、井手(高)、林	12	102	11.8%
20		15	金	八千代町中央公民館	常総	福間	伊井	福間(明)	15	88	17.0%
21		28	木	結城市公民館	筑西	細谷	伊井	伊井(義)、細谷(み)	8	40	20.0%
22	10	7	土	県民まつり	ひたちなか	細谷	-	(荒天中止)	-	-	-
23		8	日	県民まつり	ひたちなか	細谷	得田	福間、川井、小田倉、和田、湯本、細谷(み)、佐藤(香)、林	23	67	34.3%
24		29	日	ひたちなかテクノセンター	ひたちなか	細谷	-	福間、川井、小田倉、和田、湯本、細谷(み)、貫井、望月、稲葉、田崎	6	63	9.5%
25	11	8	水	富士通アクセス	筑西	細谷	-	細谷(み)	15	83	18.1%
26		10	金	かわねやフェスタ店	常陸大宮	細谷	野上	-	5	72	6.9%
27		12	日	日立市産業祭	日立	牛島	得田	磯貝、井手(高)	14	48	29.2%
28	12	11	月	陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地	土浦	小田倉	伊井	福間、鈴木	13	115	11.3%
29		25	月	イトーヨーカドー	古河	小田倉	-	細谷	4	53	7.5%
30	1	5	金	ジョイフル本田古河店	古河	小田倉	-	細谷	4	55	7.3%
31		18	木	竜ヶ崎保健所	竜ヶ崎	牛島	伊井	福間夫妻、貫井、望月、鈴木(由)	5	67	7.5%
32		18	木	日製情報制御システム事業部	日立	牛島	得田	磯貝、井手(高)	8	102	7.8%
33		18	木	長崎屋上水戸店	水戸	山崎	-	川井、湯本、林	7	102	6.9%
34	2	19	月	行方市麻生福祉センター	鉾田	山崎	野上	山崎(晃)	7	62	11.3%

合計 428 2524 17.0%

地区普及広報委員 担当回数:山崎 6回、小田倉 4回、牛島 8回、細谷 8回、福間 7回

～平成18年度を振り返って～

会員の皆さん、いつも当会活動に積極的にご参加頂き誠にありがとうございます。

2月19日の麻生福祉センター登録会を以って、平成18年度の全33回の登録会が無事終了いたしました。

データの登録者数合計428名で、平成14年度のドナー登録会実施手順による献血併行型登録会体制のスタート以来過去2番目の記録となる好成績を収めることができました。

これも偏に県薬務課を始め、各保健所ご担当者の皆様、血液センターの大変積極的なご指導・ご協力の賜物であり、心から御礼申し上げますと共に、会員各位の多大なるご尽力にも感謝いたします。

今年3月末時点での全国の登録者数合計は28万人弱であり、目標30万人は今年度中にも達成する見込みとなりましたが、今なお多くの患者さんが骨髓バンクに登録され、骨髓移植を待ち望みながら移植を受けられない患者さんがまだまだ多くいらっしゃるのが現実です。

今年度も県ならびに各保健所のご尽力で27回もの登録会が予定されており、年度始めの計画分

ドナー登録者30万人をめざして！

は既に実施が始まっています。昨年度以上の登録実績確保には会員の皆様のご協力が不可欠です。

「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」を胸に刻み、でも「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」で一歩ずつ活動してまいりましょう。(牛島英二)

2月～5月 茨城県内イベント登録会等報告

4月21日 平成19年度総会開催

「骨髄バンクを支援するいばらきの会平成19年度総会が「国民宿舎つくばね」において4月21日開催されました。

議題

- (1) 平成18年度活動、会計、同監査報告 : 承認
- (2) 平成19年度活動方針案、予算案、役員改選案 : 承認
- (3) アサガオの種の袋つめ作業
- (4) 会員相互の情報交換
- (5) その他諸連絡

平成19年度の総会において下記の通り新役員が改選されました。

平成19年度役員

- | | | |
|---------|-------|------|
| ・顧問 | 井手義弘 | (再任) |
| ・会長 | 牛島英二 | (再任) |
| ・副会長 | 貫井徹 | (再任) |
| ・事務局長 | 福間究 | (再任) |
| ・県西支部長 | 細谷栄一 | (再任) |
| ・つくば支部長 | 小田倉孝夫 | (再任) |
| ・会報編集担当 | 小田倉孝夫 | (再任) |
| ・HP編集担当 | 伊井義人 | (再任) |
| ・会計 | 福間明子 | (再任) |
| ・会計監査 | 川井正一 | (再任) |

総会報告

総会に参加された皆さん、どうもお疲れ様でした。会場のつくばねは大変風光明媚な場所にあり、筑波山麓は新緑が目鮮やかで、吹き渡る風がとても心地よく、正に春爛漫の趣でした。来年以降も予約が取ればここを利用したいと感じました。

例年になく夜の部は深夜まで盛り上がり、実に愉快的時間を過ごすことができました。

その中で湯本さんのお母さんや細谷さんら元患者家族の方々の実体験談のお話の中で、病初期の患者家族は正にわらにもすがる思いで、家族の病気に関する情報を何とか得たい一念で関連書籍をあちこちと探し回ったものの、特殊分野でもありなかなか思うように入手できなかったとのお話がありました。

そのような話をしている中、県内の認定病院に白血病関連図書を寄贈しよう、という提案が出されました。

幸いにも私自身が過去に入手した図書の中でそうしたニーズに相応しいものが何冊かありますの

ドナー登録者30万人をめざして!

2月～5月 茨城県内イベント登録会等報告

で、それを購入手配して寄贈しようという話が急遽事務局長との間で決まり、早速手配を開始したところです。

これらの書籍が少しでも患者・患者家族の皆様にお役に立てれば幸いです。

(会長 牛島英二)

寄贈図書に関しては別掲します。

2月19日 麻生保健センター献血併行登録会

ドナー登録者数 7名
献血者数 62名(受付74名)
参加者 鉾田保健所 長洲様
登録推進員 野上様
いばらきの会 山崎晃子さん
財団地区普及広報委員 山崎

行方市麻生保健センターでの献血併行型登録会は、はじめての実施でした。献血の人出が鈍かったせいか、骨髓バンクドナー登録者も一桁でした。献血者への声掛けでは、もうすでに5名ものドナー登録されている方々がいて、うれしい場面もありました。(山崎揚久)

3月22日 水海道青年会議所骨髓バンク説明会

3月22日に行われました水海道青年会議所3月例会「生きるために生きる人達へ」で骨髓バンクについての説明を行いました。

これは、水海道青年会議所からいばらきの会に要請があり実施したもので、常総保健所担当の私が妻と二人で出席しました。青年会議所の方の仕事が終わってから2回、私の所に来ていただき、進行方法などの調整をしました。

その折、現在ドナーが見つからず骨髓移植の出来ない方は何人いますかの質問を受けました。一番基本的な質問に答えられなかったので、財団に問い合わせましたが、考えられない数だったので、結局、答えられませんでした。

この原稿を書いていたならテレビで骨髓バンクの説明をする装置を献血ルーム11個所に設置し全献血ルームに設置予定とのニュースを流していました。その時、ドナーが見つからないのは移植希望者の40%と説明していました。

当日は全腸管壁内神経細胞未熟児症のため米国で臓器移植を実施後、残念ながら亡くなられた「あやかちゃん」のお父さんも参加されていました。挨拶したときは、お気の毒でしたと答えるのがやっとでした。

骨髓バンクの説明は、最初に私の発病から現在までを説明し、その後で、骨髓バンクについての説明を行いました。私が骨髓移植のため渡米を考えたと話した時、あやかちゃんのお父さんが席を外されたので、もしかしたら当事を思い出されたのかもかもしれません。その他にもGVHD(移植片対宿主反応病)や免疫抑制剤などの話もしたので刺激的だったかもしれません。バンクの説明では、なぜ、多くのドナーを必要としているかを主眼に話しました。

質疑では、骨髓提供時の入院についての質問が多くありました。このような説明会を開催していただいた水海道青年会議所の皆様にこの場を借りて、あらためてお礼申し上げます。

なお、当日の様子は水海道青年会議所のホームページで見られます。(福間 究)

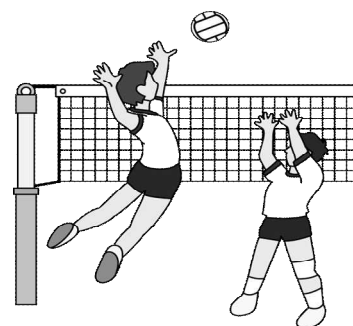
ドナー登録者30万人をめざして!

2月～5月 茨城県内イベント登録会等報告

3月24日、25日 バレーボールチャレンジリーグPR

24日、25日行われましたチャレンジリーグ会場でのPR活動報告です。

チャレンジリーグの今シーズンの結果を左右する（上位2位までが入れ替え戦出場）大事な2日間の試合でしたが地元のつくばユナイテッドは残念ながら2試合共に敗戦を喫してしまいました。上位団体であるプレミアリーグとの入れ替え戦出場を逃してしまいましたが、今年からVリーグに昇格をしたばかりですので今後に期待できるのではないのでしょうか。今回初めてバレーの試合



を観戦しましたが熱い戦いを見ることが出来、大変有意義に2日間を過ごさせて頂きました。会場出入口に於けるパンフの配布も300名以上もの大勢のお客様に受け取って頂くことができ感謝したいと思います。これを縁に今後も御協力を頂けるのではないのでしょうか？参加者の皆様、大変お疲れ様でした。

参加者：鈴木さん、和田さんとお母さん、福間さん、植村さん、小田倉（小田倉孝夫）

4月15日 かすみがうらマラソン会場献血併行登録会

ドナー登録者数 21名

献血者数 43名（受付67名）

参加者 土浦保健所 藤村様、江橋様

登録推進員 植村様

いばらきの会 福間さん、湯本さん、和田さん、弓野さん、鈴木さん親子、伊井さん夫妻

財団地区普及広報委員 小田倉

例年だとかすみがうらマラソンはあまり天候に恵まれないことが多いのですが、少々風はあったものの一日快晴に恵まれました。

マラソン参加者数は過去最大のものになり賑わいを見せていましたが、今年からは10マイルレース参加者もフルマラソン参加者同様献血が不可になったこともあり献血は低調に終わってしまったのかもしれませんが。我々バンク関係者も精一杯の声をあげて献血呼び込みをしましたが中々良い結果にはつながりませんでした。参加された皆様、大変お疲れ様でした。

（小田倉孝夫）

（余談 かすみがうらマラソン会場ではTBSテレビのドラマ「マラソン」の撮影が行われていたようですが写真撮影厳禁と厳しい制限があったようです。主演は、二宮和也、田中美佐子。

韓国で実話を元に映画化されたものをテレビドラマ化したそうです。かすみがうらマラソンコースの移り変わる田園風景の美しさがドラマ撮影のきっかけとか・・・）（小田倉孝夫）

5月13日 つくばフェスティバル献血併行登録会

ドナー登録者数 26名（受付27名）

献血者数 80名（受付92名）

参加者 つくば保健所 赤澤様

登録推進員 植村様

いばらきの会 伊井さん夫妻、鈴木さん、川井さん、和田さん、弓野さん、長尾さん、栗島さん、宮城さん（特別参加 神奈川県）小田倉さん

財団地区普及広報委員 福間

ドナー登録者30万人をめざして！

2月～5月 茨城県内イベント登録会等報告

午前中は曇り空でしたが、午後からは晴れたので安心しました。

つくばフェスティバルの入出は多かったのですが、残念ながら、献血ルーム前は屋台などが無いため、祭会場に比べると静かでした。それでも、献血者を主体に26名の方に登録していただきました。

13日は母の日で献血ルームでは先着の方にカーネーションをプレゼントしていました。バンクに最初に登録された方は、献血を4月にされたばかりでしたが、バンク登録をすればカーネーションがもらえると思って来られたそうです。しかし、残念ながら、カーネーションはもらえずお気の毒でしたが、いばらきの会からのアサガオの種のプレゼントで我慢してもらいました。

当日は、新しい参加者も多く、宮城さんに来て頂くなど終日賑やかな登録会になりました。(福岡究)

急遽、神奈川から参加してくれた宮城君より感想が寄せられました。

先日はとてもいい勉強になりました。バンクのボランティアは初めてでちょっと不安だったのですが、つくばの皆さんがとても優しくあたたかくて、すぐになじむことができました。つくばエクスプレスのおかげで交通の便も良くなったので、ちょくちょく(頻繁にかも)イベントに参加するかもしれないのでその時は宜しくお願いします。今度神奈川の団体のお手伝いもしてみようと思います。早いとこ資格として説明員のお手伝いもできるようにがんばります。(宮城)

5月29日 日本原子力発電所献血併行登録会

ドナー登録者数 12名
献 血 者 数 53名(受付62名)
参 加 者 ひたちなか保健所 野上様、高橋様
登 録 推 進 員 高橋様
いばらきの会 福岡究さん、井手高子さん、川井さん、植村さん、伊井陽子さん
財団地区普及広報委員 伊井

なお、献血会場は2箇所でしたが、バンク登録会は片方のみで行いました。このため、上記献血者数は片方(バンク側)のみの数値となっております。

入構や構内姿勢に厳しい管理体制が徹底されており、さすが原子力発電所という雰囲気の中、献血開始と同時に登録希望の方も来られました。

出足好調の中、午前中で9名の方に登録いただきました。このまま順調に午後もと期待したのですが、なんと、献血希望の方が午前と比べものにならないほどバッタリと止まってしまい、それに合わせてバンク登録も午後3名という結果で、期待したほど伸びませんでした。合計12名の登録をいただきましたのは、ご担当の飯塚さん(登録もしていただきました)のご協力のお陰だと感じております。

それにしても、この東海第二発電所の献血の受け入れ体制はすばらしく、飯塚さんはもとより、机、椅子等の設営・撤去を、大人数でアツという間に行って下さいました。(もちろんバンクの片付けも手伝っていただきました)また、ホットコーヒーやペットボトルなどの差し入れは私にとっては初めての経験でした。気温もあまり上がらない中、大変ありがたく感謝申し上げます。

(伊井義人)

ドナー登録者30万人をめざして!

2月～5月 茨城県内イベント登録会等報告

5月30日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数 18名
献血者数 62名(受付89名)
参加者 つくば保健所 赤澤様
登録推進員 植村様
いばらきの会 長尾さん、福間明子さん
財団地区普及広報委員 福間

屋外での登録会でしたが、残念ながら曇り時々雨、3時頃からはやや強い雨となってしまいました。

献血バスの隣に献血受付とバンク受付を設けましたが、残念ながら学生さんには目立たない場所のため、人通りの多い場所に血液センターさんが呼び込み用のテントを設営されたので、バンクも利用させてもらいました。

午前中は学生さんも少なく献血も低調でしたが、12:00頃から学生さんも多くなり献血受付と献血バスは行列となりました。献血の最後の方がバスに乗り込んだのは、5時半頃でした。残念ながら、登録者は今年の28人から減りましたが、雨のためやむを得なかったと考えています。(福間究)

祝！当会会員でもあります植村さんがつくば献血ルーム登録推進員になりました！！

この度、4月からつくば献血ルームの登録推進員として勤務することになりました。前任の伊井さん同様、ドナ-登録推進員として頑張っていきたいと思っております！ふつつか者ではありますが、今後とも皆様のご指導ご協力よろしく申し上げます。

さて、先日、私の勤務先でもありますつくば献血ルームに「命のアサガオ」を置きたいと所長に申し出たところ快く了解頂きました。また、福間さんから所長にお願いして頂き、献血者全員に渡しているティッシュ、救急判セットにも種を入れてもらえることになりました。おかげで先日も20数セット配ることが出来ました。蒔き時期でもあり、お子さん連れの方などにも大変喜んでいただきました。

先日も受け取って頂いた親子連れの方からも「今、蒔き時だもんねえ」「子供と育てます」と好評です。献血ルームは所長をはじめ花好きの方が多く、花瓶の花も四季折々絶えることがありません。

ルームでも実際に命のアサガオを育てることを提案したところ、快く承諾。5月9日に種を蒔いて、18日に2つ発芽しました。命のアサガオを通して骨髓バンクに興味を抱く、ひとつのきっかけになればと願います。

今後、となりにチャンスを置いたり、『命のアサガオ』の図書を置いて「本もあります」のようなポップを作ったりするのもひとつの案かと思えます
(植村千絵美)

命のアサガオとは

(1) 命のアサガオとは

新潟に住むこうすけ君は、平成5年、小学校に入学しました。しかし、こうすけ君は白血病に冒されてしまいます。こうすけ君は小学校に通いますが3ヶ月ほど通っただけで入院することになり「骨髓移植」が受けられないまま、残念ながら9月に白血病で亡くなってしまいます。

ドナー登録者30万人をめざして！

お母さんが、ふと、庭を見るとこうすけ君が短い学校生活の中で育てたアサガオが、薄いピンク色の花を咲かせていました。種をとって育てることでこうすけ君の命をつなげていこうと思いつきました。その種が新潟の子ども達から全国へ広がり、思いやりの心・命の大切さを伝えていきます。

(2) アサガオの種を作ってくださいる人

県内では、主に小中学校のPTAを通じて、広がりを見せています。毎年、たくさんのアサガオを栽培してくださる方もいます。特に、常陸太田市の塙さん、つくば市の山田さんからは大量の種をいただいています。もちろん、いばらきの会でも個人的に栽培している会員もいますが、到底その量には及びません。中には匿名で事務局へ送付下さる方もいました。また、学校で採れた種を送ってくれたり、学校の部活動として種を広めてくれているところもあります。今年は、つくば市の豊里地区や谷田部地区の小学校にも、PTA会長さんのご厚意で種が広がっています。今年の秋は豊作の予感です。(伊井義人)

(3) アサガオの種の袋詰め

アサガオの種の袋詰めはいばらきの会の有志で行っています。平成19年度は4月21日の総会後と、5月5日につくば市で袋詰め会を実施しました。袋詰めは細かい作業ですので疲れませんが、こうすけ君のこと、種を作ってくださいる人のことなどを思い浮かべながら袋詰めをしています。また、いばらきの会会員の方に会うのは登録会の時がほとんどです。登録会では話をしている余裕がありませんが、袋詰めの際は、手は忙しくても口には余裕がありますのでおしゃべりがはずみます。なお、時間がなく袋詰めが出来なかった種は会員の方が自宅袋詰めをしています。(福岡究)

ご寄付ありがとうございました。

建設未来協議会様からのご寄付を頂きました。

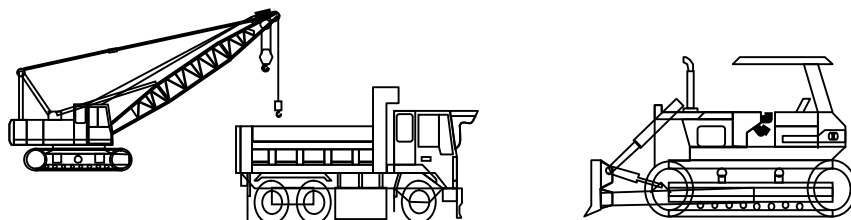
2月6日に建設未来協議会様から「建設フェスタ」でのオークションの収益金のご寄付をいただきました。あらためてお礼申し上げます。

建設未来協議会さんは、茨城県内の次代を担う建設業経営者の皆様で「魅力ある建設業の創造と地域の発展」に尽力されています。

その一環として平成16年に骨髄バンクの講演会を実施いただき、その後のドナー登録会では当時として最高の41名の方にドナー登録していただきました。その後は建設未来協議会さんが毎年10月にひたちなか市のテクノセンターで開催される「建設フェスタ」で献血とともに骨髄バンクのドナー登録会開催に御協力を頂いております。

建設フェスタは地域活動の一環として開催され、大人から子供まで楽しみながら建設について知ることのできるイベントで、毎年、多くの子供さんが参加しています。今年も10月28日

(日)に建設フェスタが開催されますので、ぜひ参加してみてください。もちろん、入場無料、駐車場無料です。(福岡究)



ドナー登録者30万人をめざして！

～トピックス～

骨髄移植推進財団より毎月、マンスリーレポートが発行されています。最新のドナー登録者数、患者登録者数、骨髄移植例数などが記載されています。5月15日号に『ドナー休暇制度』の導入拡大というテーマでこんなすごい会社が紹介されています。

『本年4月より「骨髄ドナー休暇」制度を導入したトヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、対象職員数/7800名）があります。同社のドナー休暇制度の特徴は、骨髄移植に伴う通院や入院に要する期間を年次有給休暇とは別の「特別有給休暇」（最大10日間）として取り扱い、社員の方々が骨髄提供する際の就業上の負担をより軽減している点です。「身体的、経済的負担から二の足を踏んでいる人は多く、企業として支援する意味は大きいと」（同社広報IR室）と話しています』こんな職場が増えるとドナーに成ってくださる方も増えるので、骨髄バンクのボランティアにとってはうれしい限りです。ぜひ、他の職場にも拡大して欲しいものです。

（福岡究）

6月～8月の主な登録会の予定

6月14日	トステム大和工場	（担当地区普及広報委員	細谷）
6月21日	常総市民会館	（担当地区普及広報委員	福岡）
7月10日	三桜工業古河工場	（担当地区普及広報委員	小田倉）
7月26日	大洗研究開発センター	（担当地区普及広報委員	山崎）
7月27日	那珂中央公民館	（担当地区普及広報委員	伊井）
7月30日	神栖市保健センター	（担当地区普及広報委員	牛島）
8月6日	ショッピングモールフィズ 境	（担当地区普及広報委員	小田倉）
8月21日	カインズホーム北茨城店	（担当地区普及広報委員	牛島）
8月21日	マルヘイストア銚田店	（担当地区普及広報委員	山崎）
8月26日	まつりつくば07	（担当地区普及広報委員	福岡）

登録会の予定は変更になる事も有りますので、登録会参加ご希望の方は、事前に、事務局若しくは各担当地区普及広報委員にお問い合わせ下さい。皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

会長の独り言



昨年暮れに3回目となる適合通知を財団から電話で受けました。

「やったー、良いぞ良いぞ、よーし今度こそ！」と小さくガッツポーズです。

今回も1回目と同様、緊急コース（80日設定）で、2回目が9月だったので問診表は前回のものを流用すること、緊急コースに対応できるか？ 確認検査は千葉以外になるかもしれないかどうか？などの簡単な質問に電話で回答し、最初のステップたる問診表提出はクリアしたことになります。

わずか1年の間に3回もの適合通知受領は誠に喜ばしく、今回はぜひとも提供まで進みたいものと決意を新たにしましたが、長期間の禁酒に耐えられるかが最重要課題となり、それが一番の悩みでした。ところが、3回目のドナーコーディネートは残念ながら今回も終了となってしまいました。

終了の理由ですが、昨年暮れに久しぶりに献血し、その検査結果が新年早々に送付されてきました。それによれば、「B型肝炎ウイルスに過去に感染したことがある」「現在は血液中にウイルスの存在は認められない」「今後献血は辞退して欲しい」とのことでした。昨年2月に献血した

ドナー登録者30万人をめざして！

際は問題なかったことから、それ以降何らかの原因で感染したものと推測されます。昨年暮れまでの間、全く自覚症状は無く、ネットで調べたB型肝炎に関する詳細記事によれば、成人になってからHBVに初感染した場合、70～80%の人は肝炎にならず自然に治癒すること、一過性感染では、急性肝炎を発症する顕性感染（症状があらわれること）、自覚症状が無いまま治癒する不顕性感染（症状があらわれないこと）に分かれるとのことで、私の場合は幸いにも不顕性感染であったものと思われまます。私のドナーコーディネーターは確認検査を実施することが既に決まっていたので、すぐに担当コーディネーターに連絡し、以上の事実を伝えて適格性の判断を急ぐよう依頼しました。しばらくしてコーディネーターから連絡があり、「永久不適格に該当する」「コーディネーターは中止する」「ドナー登録は取り消す」とのことでした。この思いもよらぬ急展開に、さすがのウッシーとしましても、目の前真っ暗状態、しばし放心状態で自らの悲運を大いに嘆き悲しんだものでした。ですが、確認検査に備えて再度開始した禁酒が今回もまた五日間程度の短期間で終了することとなり、その日の晩はまだ見ぬ患者さんに心からお詫びを申し上げ、36年間の献血人生、13年間のドナー登録人生の終了を記念して、一人乾杯で盛り上がりました。献血も骨髓提供もできないふがない体となってしまいましたが、幸いにも健康状態は維持できていますので今後もライフワークとしての骨髓バンクボランティアは継続していく所存です。
(牛島英二)

～特別寄稿～

2年前に筑波大学学園祭にて登録会実施を企画した際に企画実行責任者として協力してくれた医学学群に金城君と言う学生さんがおりました。登録会は残念ながら実施環境が整わず実施することが出来ませんでした。卒業後にドナー提供をされたとお話がありこの度、原稿を寄せて頂きました。
(小田倉孝夫)

金城です。

自己紹介させていただきます。

私は大阪の出身で、高校までは大阪で過ごし、その後、筑波大学医学専門学群に入学し、在学中は勉強はほとんどそっこのけで部活でアイスホッケーばかりやってきました。

卒業後は、関西に戻ってきて、研修医1年目を岸和田市民病院で研修し、現在京都大学附属病院で2年目研修医をしています。骨髓バンクに登録したきっかけは元々白血病とかの血液疾患に興味があって、テレビCMなどで存在は知ってたんですが、やはり、全身麻酔や導尿カテーテルなどに対して不安感があったんで登録をためらってました。でも、ドナーになったらカッコいいかなっていう気持ちもあったし、骨髓ドナーとなってその患者さんの命を助けるっていうのは僕しかできないかもしれないっていう希少価値感もあったり、実際登録するだけでドナーになるわけではないのでとりあえず、みたいな感じで登録しようと思ったような気がします。

実際提供してみると、あんまり実感がなくて、手術自体も全身麻酔なんていつのまにか終わって気づかないうちに病室まで戻って、あー終わったんだなとは思いましたが、僕からとられた骨髓がどこでどうなってるのかは全然わかりませんでした。多分そのまま患者さんの主治医が飛行機で持って帰ったと思うんですが、患者さんの状態がわからないんで、そのまま仕事が始まってまた日常生活に戻っていきました。その後、一ヶ月もしなかつたと思うんですが、僕が提供した患者さんから手紙が届きました。患者さん本人が書いたものとその家族の方が書いたものと2枚あったんですが、それを読んで僕はしみじみと、「提供してよかった」、「いいことしたな」と実感が湧いてきました。その手紙は、今でも、仕事に疲れたり、元気が無い時に読み返すと、医者としてのやる気を思い出させてくれます。ほんとにやってよかったなと思っています。

今後の目標として・・・

今は研修医として日々がんばっているつもりですが、どの科にするかとか将来の方向はまだすごく迷っています。ただ、人に感謝されるような仕事をしていきたいと思っています。

ドナーの2回目の話がくれば当然やらさせていただきます。
(金城昌克)

ドナー登録者30万人をめざして！

新会員紹介コーナー

はじめまして。今年の4月からいばらきの会で活動させて頂いている小美玉市の弓野といいます。4月のかすみがうらマラソン登録会と5月のつくばフェスティバルに参加させて頂いています。いばらき会の皆様はとても明るくいい人達ばかりでとても楽しく参加させて頂いています。これからも機会があれば参加していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

会報本文中にありましたように、県内の骨髄移植認定病院であります各病院にこの度、下記書籍を寄贈させて頂きました。

寄贈先からはそれぞれ寄贈に対しまして感謝の言葉を頂きました。

なお、書籍を寄贈させて頂きました病院は下記の通りです。

- ・筑波大学附属病院
- ・土浦協同病院
- ・茨城県立水戸こども病院

また、これら以外にも寄贈をしてみたい施設関係や関係機関がございましたら事務局までご連絡下さい。（事務局）

	書籍名	著者	出版元
1	骨髄バンク 第9号		全国骨髄バンク 推進連絡協議会
2	白血病と言われたら		全国骨髄バンク 推進連絡協議会
3	生きてるってシアワセ！	大谷貴子	スタート出版
4	あたりまえの日に帰りたい	小林茂登子	時事通信社
5	もう一人の私	野村正満	骨髄バンクを支援する 東京の会
6	白血病はこわくない	浅野茂隆 池田康夫	アドスリー、丸善
7	血液病 おろおる旅	正岡 徹	医療ジャーナル社
8	骨髄バンクを支援するいばらきの会 会報集		

ドナー登録者30万人をめざして！

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ。

茨城県版ポケットティッシュが出来上りました。必要な方は事務局までご連絡下さい。作成頂きました県の薬務課様に感謝申し上げます。

心のごもったご寄付をありがとうございました。(2006.10.1~2007.5.31)
お寄せいただいたご寄付のうち会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

鈴木茂様勤務先 1円募金1,728円、谷津祥一様10,000円、建設未来協議会様50,000円

牛島英二様50,000円、小田倉孝夫様3,000円、伊井義人様2,000円、福間究様2,000円

川井正一様300円、山崎揚久様6,000円

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。<http://www.jmdp.or.jp/index.html>

編集後記

会報35号発行にあたり編集作業が遅れましたことをお詫び申し上げます。

会報が皆様のお手元に届く頃は梅雨本番かと思えます。皆様くれぐれも健康管理にはお気をつけ下さい。

先日、昼食を買いに会社近くのスーパーに買い物に行った時のこと。レジが大変混んでいました。その時に私の前に並んでいた奥さんがレジの順番を譲ってくれました。「私は急いでいないんで昼時間もったいないでしょうからお先にどうぞ」とのお言葉でした。他人に対する思いやりが薄れている昨今、心温まるお言葉に感激しました。

(編集担当 小田倉孝夫)

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:281,199人(県内5,516人)

骨髄移植希望者(患者数):2,261人(海外1,462 県内27人)

バンクを通じての移植例数:8,370例(海外148 県内移植数157例、県内採取数157例)
(2007年05月末現在)

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

ドナー登録者30万人をめざして!